

# 合格ラーメンは

## 小論文の思い出の味

部活動、生徒会活動に明け暮れた三年間の高校生活の中でも一番色濃く心に残っている思い出は大学入試のための「小論文練習」です。

齋藤佳子先生からテーマを与えられ、そのテーマについて書いた論文を添削していただく指導でした。それまで文章を書くことがほとんどなかった私が「起承転結」を意識した文章を書けるようになったのは齋藤先生のご指導の賜物です。第一志望の大学に合格し、先生か



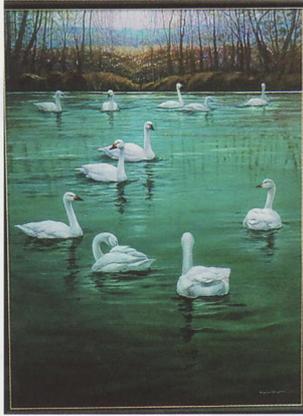
# 私の高校時代

荒井 伸太郎さん  
(旧姓 吉池 日十八年卒)



らご指導いただいた皆で食べたお祝い  
のラーメンは、一生忘れることのない  
青春の思い出の味です。

九里学園の先生方から、厳しくも温かなご指導を賜り、お陰様で東北福祉大学に進学することができました。その後日本郵便へ就職し、現在は営業で「特産品」を広める仕事をしています。将来は、お客様から「次も是非郵便局を使いたい。」と言っていただけのようになりたいと思っています。九里学園で学んだ「誇り」を胸に、頑張っていきます。



## 絵は自分自身を映す鏡

H26年 県美展入選 津山 真由美さん (H2年卒)

今年、同志と一緒に山形県総合美術展の洋画部門に初めて油絵を出品し全員で入選しました。日々の限られた時間での制作ですが、出品を決めた以上納得のいくまで絵と対話し向き合わなければと思えました。「絵は自分自身を映す鏡」集中しすぎて身体のおちこちが痛くても頑張った自分を素直に褒めてあげたいと思います。

振り返ると、高校時代もやっぱり絵を描いていました。顧問は故長岡直浩先生で部員は少ないですが、好きな音楽をかけ、描きたいものを描く自由で楽しい部活でした。三年の時、美術展の締め切り直前まで絵が仕上がらず、自宅に道具を持ちこみ、学校を数日休んで徹夜して絵を完成させました。時効ですが、その時テスト期間で真実を知っている長岡先生のご配慮により、テストの追試を受けさせていただきました(先生方、本当にありがとうございます)。そのおかげもあり絵は奨励賞でした。心配をおかけたあの頃の思い出を先生と語り合うことができないのが残念です。

現在、四つの絵画サークルに所属しています。素晴らしい仲間にも恵まれ、高みを目指すことが自分の生きがいとなり、いつか人に癒しを与えられるような深みが表現できたらいと思っています。

**記念音楽会**  
**ヴァイオリン、チェロに**  
**合わせて校歌を歌う**

2年ぶりの記念音楽会でした。  
私は、加羽沢美濃さんが大好きです。作曲家でピアニストでもあり、時には演奏曲に関する解説もしてくれます。今回も、会場から何曲かの曲名を提案してもらい、それをつなぎ合わせて一曲にしてみました。さすがとしか言いようがありませんでした。

ヴァイオリン・チェロの方々と一緒に、生徒達が校歌を合唱した時は、とても感動しました。あの時をもう一度味わいたいですね。

(S36年卒 小口信子 記)